

16年度に先導事業指針

国交省

13年度は22件試行

国土交通省は、建設事業に3次元モデル技術を用いるCIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）で、16年度に先導的導入事業（仮称）を選定するためのガイドラインを策定する。26日に開いたCIM制度検討会で新たな方針を決定した。本年度は、12年度に詳細設計業務で実施した11件のモデル事業の中から6件を抽出し、実際の工事に取り入れる試行工事を実施。別途、モデル事業以外で施工者の提案による試行工事も16件で行い、計22件の成果を踏まえ、CIMの本格導入に向けた段階的な取り組みを進めていく。

策定する先導的導入事業ガイドラインは、各地方整備局の担当者が導入の可否を決める上での判断材料としてもらうために提供する。CIM導入に

12年度に詳細設計業務で実施したモデル事業では、ソフトウェアがまだ発展途上にあることから、既存の基準類と整合させていくなどの課題が提示された。3次元モデルを扱えるなど制度導入に見合った教育研修制度の創設なども必要になるとしている。

13年度は22件の試行工事以外に20件程度の調査・設計業務でも試行。詳細設計だけでなく、より上流段階の業務で導入効果を検証する。

CIM導入促進

検討会では、これまで
試行期間（12～14年度）、
試行拡大期間（13～15年度）、
導入期間（14～16年度）
という3段階のフェーズに分けた導入計画を、
「基礎的試行」「活用試行」「適用試行」
という形に改めた。適用試行導入の段階で

は、技術的に高度な維持管理でのCIM導入を目指すプロジェクト選定を進めていく。

【建設ICT】

- | | | | |
|----------|--------|--------|---|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 | 日 |
| 4. 読売 | 5. 朝日 | 6. 毎日 | 日 |
| 7. 産経 | 8. 朝日 | 9. 毎日 | 日 |
| 10. 中部経済 | 11. 建設 | 12. 日本 | 業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃 | 15. 日本 | 事 |
| 16. 建設工業 | | | |

平成25年11月28日（朝）・夕）P 2

建設工業新聞